大分県の農林水産業の概要

特徴・取組

大分県は、九州の北東部に位置し、東西128km、南北116km、標高0mの豊後高田市の干拓地から標高1,000m近くの飯田（はんだ）高原まで耕地が分布し、耕地面積の約70%が中山間地域に位置する起伏の多い地勢となっている。このような地域条件を活かして、米を中心に、園芸や畜産などの多様な農業が営まれている。

産業構造は、県内総生産（令和元年度：４兆5,251億円）を産業別にみると、第１次産業が899億円（構成比2.0%）、第２次産業が１兆3,301億円（構成比29.4%）、第３次産業が３兆850億円（構成比68.2%）となっている。

農業では、米から高収益な園芸品目等への転換、おおいた和牛の生産・流通体制の強化に取り組み、マーケットインの商品（もの）づくりを加速するとともに、産地を牽引する担い手の確保・育成に力を入れている。
林業では、中核林業経営体の育成、主伐生産性の向上と造林・育林のコスト低減に取り組んでいる。また、木材加工体制の強化や木材流通の合理化を進めている。
水産業では、広域回遊資源の回復、良質な種苗の安定供給と海域生産力の向上を図るとともに、海面養殖業における効率的・安定的な生産体制整備を進め、県産魚の販売力を強化している。

大分県では、将来にわたって農林水産業を牽引する戦略品目(※)を設定し、生産力強化や販路開拓、輸出拡大の取組を推進している。
また、県オリジナルいちご「ベリーツ」や「おおいた和牛」、日本一の乾しいたけ「うまみだけ」、「かぼすブリ」といった機能性やストーリー性を備えた特徴ある商品づくりに積極的に取り組んでいる。
※白ねぎ、こねぎ、トマト、いちご、ピーマン、かぼす、なし、ぶどう、キク、茶、肉用牛（繁殖・肥育）、乳用牛、木材、乾しいたけ、生しいたけ、養殖ブリ類（カンパチ、ヒラマサを含む）、養殖ヒラメ、関あじ、関さば、等 27品目

世界農業遺産（平成25年認定）の国東（くにさき）半島宇佐地域は、降水量が少なく、河川からの水利が困難な場所に1,200以上のため池を造って用水供給システムを構築している。稲作のほか、豊富にあるクヌギを使った原木しいたけ栽培やシチトウイ(※)栽培など多様な農林水産業を展開している。
※大分県の国東半島だけで栽培されているカヤツリグサ科という植物で、い草に比べて強健で耐久性に優れ、畳表の材料となっている。

主な農林水産物

ねぎ

干拓地から高原地域まで、標高差を活かした周年栽培が広く行われている。
（収穫量全国７位）

夏秋ピーマン

雨除け栽培により作柄の安定が図られ、減農薬栽培への取組など品質の向上に努めている。（収穫量全国３位）

かぼす

全国の収穫量の99%を占める県を代表する品目、果汁飲料がヒットするなど加工需要も高まっている。
「大分かぼす」は平成29年５月にＧＩ登録。（収穫量全国１位）

きく

海岸地域から準高冷地までリレー出荷体系が確立。
リース施設を活用した新規就農者の確保や規模拡大に取り組んでいる。（出荷量全国８位）

乾しいたけ

豊富なクヌギ資源を活用した原木栽培が盛ん。
生産量は全国の38%を占める。（生産量全国１位）

肉用牛

第12回全国和牛能力共進会（令和4年）で全出品区優等賞に入賞し出品団体賞を受賞。
「おおいた和牛」のさらなるブランド化を目指す。

木材（すぎ）

日田市や佐伯市を中心に、高品質な乾燥材を県内外に出荷している。
（素材生産量全国３位）

あじ・さば

一本釣りによって大分市佐賀関に水揚げされる県を代表するブランド魚「関あじ」「関さば」。平成18年10月に地域団体商標に登録

ぶり（養殖）

豊後水道域で養殖され、収獲量は全国の18%を占める。写真は餌にカボスを添加して生産した「かぼすブリ」。
（収獲量全国２位）

ひらめ（養殖）

陸上施設で養殖され、収獲量は全国の31%を占める。写真は餌にカボスを添加して生産した「かぼすヒラメ」。
（収獲量全国１位）

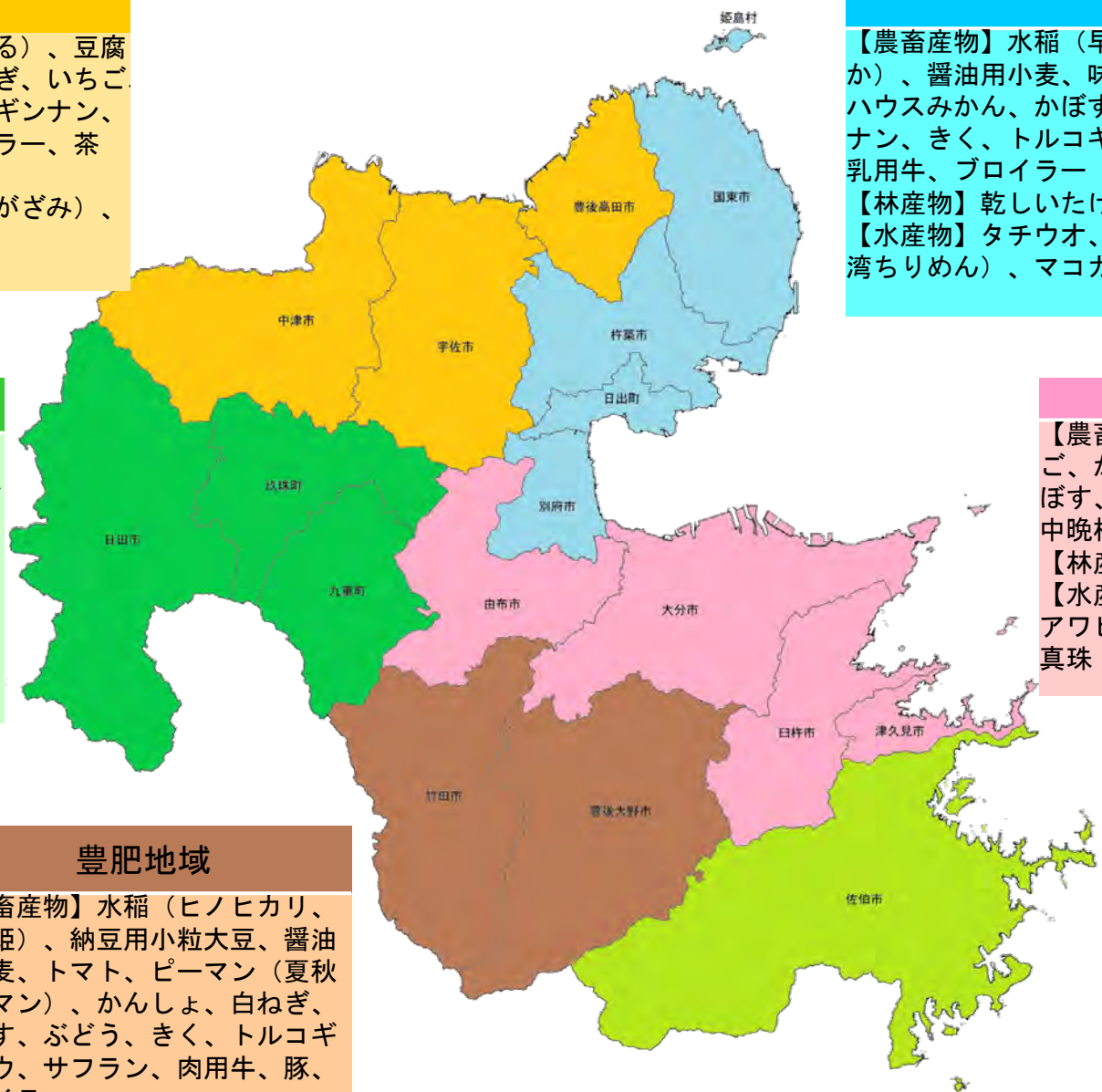
大分県内の各地域における農林水産物

北部地域

【農畜産物】水稲（つや姫、にこまる）、豆腐用大豆、焼酎用大麦、白ねぎ、こねぎ、いちご、日本なし、ぶどう、かぼす、ユズ、ギンナン、スイートピー、肉用牛、豚、ブロイラー、茶
【林産物】生しいたけ
【水産物】クルマエビ、ガザミ（岬がざみ）、ノリ、ドジョウ、スッポン、ウナギ

東部地域

【農畜産物】水稲（早期米、ヒノヒカリ、なつほのか）、醤油用小麦、味噌用はだか麦、いちご、こねぎ、ハウスみかん、かぼす、キウイフルーツ、ユズ、ギンナン、きく、トルコギキョウ、ホオズキ、茶、肉用牛、乳用牛、ブロイラー
【林産物】乾しいたけ
【水産物】タチウオ、クルマエビ、シラス（豊後別府湾ちりめん）、マコガレイ（城下かれい）



西部地域

【農畜産物】水稲（ひとめぼれ、つや姫）、トマト、白ねぎ、すいか、はくさい、クレソン、日本なし、ぶどう、ユズ、ギンナン、ばら、肉用牛、乳用牛
【林産物】木材（すぎ）、乾しいたけ、生しいたけ、わさび（葉柄）
【水産物】アユ、ウナギ

中部地域

【農畜産物】水稲（ヒノヒカリ）、いちご、かんしょ、しそ、みつば、にら、かぼす、セミノール（かんきつ類）、茶、中晩柑、肉用牛
【林産物】生しいたけ
【水産物】関あじ、関さば、タチウオ、アワビ類、養殖ブリ、養殖クロマグロ、真珠

豊肥地域

【農畜産物】水稲（ヒノヒカリ、つや姫）、納豆用小粒大豆、醤油用小麦、トマト、ピーマン（夏秋ピーマン）、かんしょ、白ねぎ、かぼす、ぶどう、きく、トルコギキョウ、サフラン、肉用牛、豚、ブロイラー
【林産物】乾しいたけ

南部地域

【農畜産物】水稲（早期米、ヒノヒカリ）、いちご、にら、中晩柑、セミノール（かんきつ類）、きく、スイートピー、ホオズキ
【林産物】木材（すぎ）
【水産物】イワシ類、サバ類、アジ類、アワビ類、養殖ブリ、養殖クロマグロ、養殖ヒラメ、養殖シマアジ

出典：大分県の農林水産業を基に作成

大　分　県　の　農　業　（　1　）

・耕地面積は5万4,200haで全国26位。うち田が3万8,600ha、畑が1万5,600ha。
・農業経営体数は1万9,133経営体で全国26位。うち法人経営体が718経営体で14位。
・認定農業者数は3,816経営体で全国23位。うち法人が721法人で14位。

耕地面積

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
耕地面積	54,200 ha	4,325,000 ha	26
田	38,600 ha	2,352,000 ha	25
畑	15,600 ha	1,973,000 ha	24
普通畑	8,540 ha	1,123,000 ha	26
樹園地	4,350 ha	258,600 ha	17
牧草地	2,710 ha	591,300 ha	11
参考）総土地面積	634,070 ha	37,797,356 ha	22

出典：「令和4年耕地面積（7月15日現在）」、「令和5年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
荒廃農地面積	11,457 ha	259,502 ha	6

出典：「令和3年度の都道府県別の荒廃農地の発生状況」

担い手への農地の集積状況

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
担い手への集積面積	23,920 ha	2,560,109 ha	27
集積率	43.9 %	58.9 %	20

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和3年度版）」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方
・令和5年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
・表中に使用した記号は次のとおり
「0」：単位に満たないもの（例：0.4t→0t）
「－」：事実のないもの
「…」：調査を欠くもの
「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。
「＊」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
農業経営体数	19,133 経営体	1,075,705 経営体	26
法人経営体	718 経営体	30,707 経営体	14
総農家数	31,954 戸	1,747,079 戸	26
販売農家	18,099 戸	1,027,892 戸	26
参考）世帯総数	489,249 世帯	55,830,154 世帯	33
集落営農数	464 集落営農	14,364 集落営農	14

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、「集落営農実態調査（令和4年2月1日現在）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
基幹的農業従事者数	21,496 人	1,363,038 人	27
男	13,389 人	822,144 人	27
女	8,107 人	540,894 人	30
65歳以上	16,626 人	948,621 人	27
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	77.3 %	69.6 %	－
認定農業者数	3,816 経営体	222,442 経営体	23
法人数	721 法人	27,974 法人	14
参考）総人口数	1,123,852 人	126,146,099 人	34

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和4年3月末現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

大　分　県　の　農　業　（　２　）

・農業産出額は1,228億円で全国25位。うち米が178億円、肉用牛が139億円、豚が112億円。
・農畜産物の生産状況は、カボス、ギンナンが全国１位、夏秋ピーマンが３位、にらが５位、二条大麦、はくさいが６位。
・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売金額が１億円で全国12位、経営体数は50経営体で５位。

農業産出額

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
農業産出額	1,228 億円	88,384 億円	25
米	178 億円	13,699 億円	27
麦類	4 億円	709 億円	14 ＊
雑穀	0 億円	78 億円	33
豆類	3 億円	697 億円	26
いも類	21 億円	2,358 億円	11
野菜	332 億円	21,467 億円	22
果実	140 億円	9,159 億円	16
花き	47 億円	3,306 億円	22
工芸農作物	20 億円	1,727 億円	15
その他作物	9 億円	587 億円	20 ＊
畜産	465 億円	34,048 億円	21
肉用牛	139 億円	8,232 億円	15
乳用牛	90 億円	9,222 億円	18
生乳	81 億円	7,861 億円	18
豚	112 億円	6,360 億円	19
鶏	122 億円	9,364 億円	25
鶏卵	47 億円	5,470 億円	30
ブロイラー	57 億円	3,740 億円	14 ＊
その他畜産物	2 億円	869 億円	25
加工農産物	9 億円	549 億円	10

出典：「令和3年生産農業所得統計」

農畜産物の生産状況

区　分		年次	大　分　県	全　国	全国順位
カボス	収穫量	R2	5,900 t	5,968 t	1
ギンナン	収穫量	R2	398 t	930 t	1
夏秋ピーマン	収穫量	R3	7,320 t	72,700 t	3
にら	収穫量	R3	3,100 t	56,300 t	5
二条大麦	収穫量	R4	6,730 t	151,200 t	6 ＊
はくさい	収穫量	R3	23,500 t	899,900 t	6
ねぎ	収穫量	R3	16,300 t	440,400 t	7
きく（切り花類）	出荷量	R3	27,500 千本	1,298,000 千本	8
日本なし	収穫量	R4	7,780 t	196,500 t	8
肉用牛	飼養頭数	R4	51,500 頭	2,614,000 頭	14

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「特定果樹生産動態等調査」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区　分		大　分　県	全　国	全国順位
農産加工	総額	11,254 百万円	953,268 百万円	27
	事業体数	460 事業体	30,550 事業体	33
農産物直売所	総額	19,153 百万円	1,046,385 百万円	24
	事業体数	330 事業体	22,680 事業体	28
観光農園	総額	201 百万円	32,634 百万円	39
	経営体数	40 経営体	4,990 経営体	33
農家民宿	総額	100 百万円	3,992 百万円	12 ＊
	経営体数	50 経営体	1,180 経営体	5 ＊
農家レストラン	総額	652 百万円	30,336 百万円	20 ＊
	事業体数	20 事業体	1,260 事業体	19 ＊

出典：「令和3年度6次産業化総合調査」

大　分　県　の　林　業

・林業産出額は227億円で全国５位。うち木材生産が171億円で３位、栽培きのこ類生産が54億円で７位。
・林産物の生産状況は、乾しいたけが全国１位、乾きくらげ類が２位、すぎが３位、えのきたけが４位、ひのきが６位。
・製材工場数は、114工場で全国11位。

林業産出額

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
林業産出額	226.8 億円	5,456.6 億円	5
木材生産	170.9 億円	3,254.1 億円	3 ＊
栽培きのこ類生産	54.1 億円	2,091.6 億円	7

出典：「令和3年林業産出額」

林野面積

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
林野面積	454,565 ha	24,770,201 ha	19
国有林	50,466 ha	7,153,338 ha	19
民有林	404,099 ha	17,616,863 ha	17
人工林面積	229,706 ha	10,133,111 ha	16

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」

林業経営体数

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
林業経営体数	1,329 経営体	34,001 経営体	6
法人経営体	93 経営体	4,093 経営体	16

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」

林産物の生産状況

区　分		大　分　県	全　国	全国順位
素材生産量		1,185 千㎥	21,847 千㎥	4 ＊
針葉樹		1,172 千㎥	20,088 千㎥	4
すぎ		983 千㎥	12,917 千㎥	3
ひのき		187 千㎥	3,079 千㎥	6
広葉樹		13 千㎥	1,759 千㎥	25 ＊
乾しいたけ	生産量	840 t	2,216 t	1 ＊
乾きくらげ類	生産量	22 t	148 t	2 ＊
えのきたけ	生産量	2,930 t	129,587 t	4 ＊
たけのこ	生産量	363 t	19,917 t	9

出典：「令和3年木材需給報告書」、「令和3年特用林産基礎資料」

製材工場数

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
工場数	114 工場	3,948 工場	11
製材用素材の入荷があった工場数	105 工場	3,892 工場	12
国産材のみ	68 工場	3,138 工場	20
国産材と輸入材	28 工場	607 工場	3

出典：「令和3年木材需給報告書」

大　分　県　の　漁　業

・漁業産出額は325億円で全国12位。
・水産物の生産状況は、海面養殖業のひらめが全国１位、内水面養殖業のあゆが８位。
・漁業生産関連事業は、水産加工の年間販売金額が53億円で全国８位、水産物直売所の年間販売金額は５億円で21位。

漁業産出額

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	325 億円	12,103 億円	12

出典：「令和2年漁業産出額」

漁業経営体数

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
海面漁業経営体数	1,914 経営体	79,067 経営体	17
内水面漁業経営体数	42 経営体	4,772 経営体	29

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月１日現在）」

漁業就業者数

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
海面漁業就業者数	3,455 人	151,701 人	17
男	2,917 人	134,186 人	19
女	538 人	17,515 人	13

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月１日現在）」

漁船隻数

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
漁船隻数	3,127 隻	132,201 隻	16
動力漁船	2,088 隻	69,920 隻	12

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月１日現在）」

水産物の生産状況

区　分	大　分　県	全　国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	52,399 t	4,163,072 t	22 ＊
海面漁業漁獲量	29,063 t	3,236,431 t	20
くるまえび	17 t	213 t	3
まあじ	1,918 t	89,615 t	9
海面養殖業収獲量	23,336 t	926,641 t	14 ＊
ひらめ	528 t	1,711 t	1 ＊
ぶり	17,995 t	99,804 t	2 ＊
内水面漁業・養殖業生産量	267 t	51,757 t	30 ＊
内水面漁業漁獲量	91 t	18,904 t	18
うなぎ	4 t	63 t	6
内水面養殖業収獲量	176 t	32,854 t	21 ＊
あゆ	90 t	3,909 t	8 ＊

出典：「令和3年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区　分		大　分　県	全　国	全国順位
水産加工	総額	5,278 百万円	170,100 百万円	8 ＊
	事業体数	20 事業体	1,470 事業体	21 ＊
水産物直売所	総額	503 百万円	32,443 百万円	21 ＊
	事業体数	10 事業体	820 事業体	20 ＊
漁家民宿	総額	18 百万円	5,553 百万円	30 ＊
	経営体数	10 経営体	800 経営体	16 ＊
漁家レストラン	総額	78 百万円	9,696 百万円	24 ＊
	事業体数	10 事業体	430 事業体	10 ＊

出典：「令和3年度6次産業化総合調査」

大分県の農林水産業の話題等（１）

園芸の生産拡大

県は『農業システム再生に向けた行動宣言』に基づき、ボトルネック解消により県域での産地拡大が加速度的に進む品目を「短期集中県域支援品目」として認定し、課題解決に向けた対策を期間を定めてパッケージ支援するとともに、市町が推進する「産地拡大推進品目」についても、地域が一体となった長期的な産地拡大の取組を支援している。

【短期集中県域支援品目】

☆ねぎ（白ねぎ・こねぎ）

白ねぎ：産地拡大に伴う生産基盤の整備（生産機械、出荷調製機械、実践研修　等）

こねぎ：夏季の技術高度化の推進（遮光資材、潅水技術高度化、パッケージセンター機能向上　等）

☆ピーマン

生産力の増強に向け、経営拡大･技術力向上の支援

（実践研修、アザミウマ類対策、残渣処理施設整備　等）

☆高糖度かんしょ

規模拡大や複合経営の促進による「甘太くん」産地の拡大

（スマート農業機械整備、基腐病対策、広域ウイルスフリー苗増殖施設整備　等）

☆県オリジナルいちご「ベリーツ」

「ベリーツ」ブランド確立に向け、スキルアップの推進

（高収益モデル実証、地区課題プロジェクト、環境制御技術研修、パッケージセンター整備　等）

【産地拡大推進品目（令和４年11月１日時点）】

地域特性を生かしマーケットニーズのある品目について、地域の目指す姿や目標などを設定した「園芸産地づくり計画（今後５年間）」に基づき実行する取組を支援

☆野菜（15品目）

白ねぎ、ピーマン、ベリーツ（いちご）、高糖度かんしょ、トマト、にら、こねぎ、にんにく、おおば、パセリ、たまねぎ、スナップエンドウ、えだまめ、さといも、スイートコーン

☆果樹（９品目）

キウイ、ぶどう、なし、施設柑橘、露地柑橘、くり、ハウスみかん、もも、オリーブ

☆花き・茶（４品目）

施設花き、キク、ホオズキ、茶

優良農地確保による
白ねぎ産地の拡大

技術力向上による
こねぎの生産拡大

規模拡大、技術力向上による
ピーマンの生産拡大

規模拡大等による
「甘太くん」産地の拡大

高収益技術の普及拡大
による早期収量の拡大

短期集中県域支援品目決起集会
（令和4年6月15日）

大分県の農林水産業の話題等（２）

水稲新品種「なつほのか」本格導入

「なつほのか」は、鹿児島県において、「にこまる」を親として育成された新しい品種。鹿児島県と長崎県で奨励品種に採用されており、下のような特徴をもっている。

一般的な品種「ヒノヒカリ」と比較して…

◆出穂期は4日、成熟期は7日程度早い
◆大粒で千粒重は重く、収量性は高い
◆玄米の品質は優れ、食味は概ね同程度
◆高温耐性に優れ、耐倒伏性は同程度

大分県内で広く栽培されている「ヒノヒカリ」は高温に弱く、白未熟粒の発生による品質低下が問題とされている。「なつほのか」は高温に強いことから品質が優れる傾向にあり、面積当たりの収穫量も「ヒノヒカリ」より多い特徴がある。

また、令和４年産米の食味ランキングにおいて最高位である「特Ａ」を獲得した（参考品種）。

【「なつほのか」の導入で、作期分散により作業性が向上】

早生の「なつほのか」は、極早生の「つや姫」や、中生の「ヒノヒカリ」の間に成熟期を迎えることから、標高に応じて、複数品種を作付けることで、品種の集中を解消でき、収穫等の作業分散に加え、病害虫や台風等の気象のリスクも軽減できる。

【令和４年度から「なつほのか」本格導入】

認定品種に選定し、令和４年度から県内全域で本格的な導入を行った結果、「なつほのか」の作付面積は1,152ha（県水田畑地化・集落営農課調べ）となり、「ヒノヒカリ」「ひとめぼれ」に次ぐ県内３番目の面積となった。

今後は、高温の影響が見られる地域を中心に普及を進め、令和５年度は2,000ha、令和６年度は3,000ha以上を目標として拡大を推進していく。 高温耐性品種である「つや姫」「にこまる」と併せて「なつほのか」を推進し、バランスの取れた品種構成を目指すことになっている。

「なつほのか」ロゴマーク

「なつほのか」副知事試食・贈呈

大分県HP「なつほのか」のページ